特集

令和7年度 予算
繰越金により収支を維持 保険料は据え置き

令和5年度の全国1380組合における健保組合の決算見込みは、保険給付費が増加したほか、高齢者医療への納付金の大幅な増加により、赤字の決算となりました。収支は前年度に比べ悪化し、全体の50% を超える726組合が赤字となる見込みです。

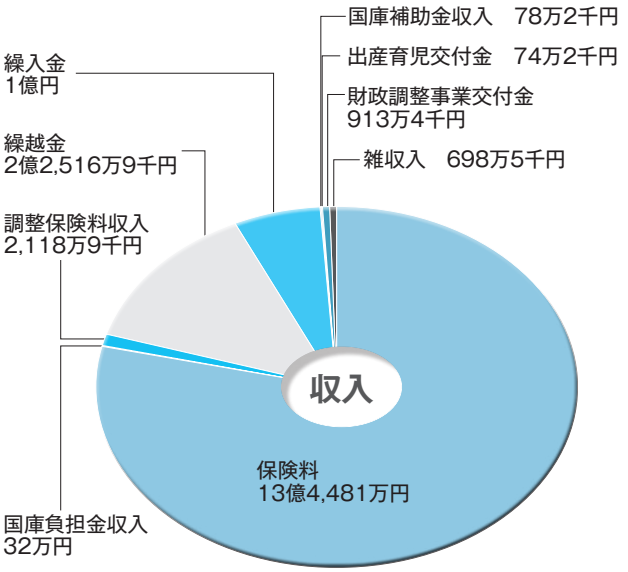
令和7年度は団塊の世代が全員75歳以上の後期高齢者へ移行します。健保組合を取り巻く状況は、とくに後期高齢者支援金のさらなる増加が危惧されるなど、今後も厳しい局面が続く見込みです。国民皆保険制度を現役世代につないでいくためには、医療費の増加抑制や現役世代の負担軽減は喫緊の課題となっています。

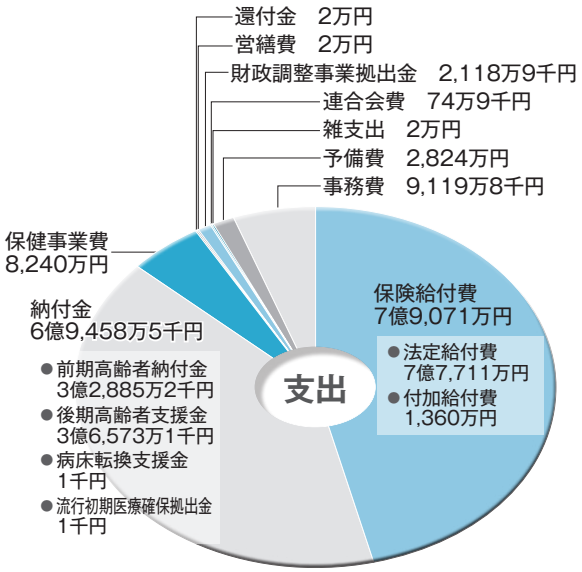
このような状況のなか、当健保組合の令和7年度予算は、支出が収入を上回りましたが、前年度からの繰越金により収支を維持します。財政の健全化に向けて、これまで以上に効率的・効果的に保健事業を推進してまいります。加入者の皆様もぜひ当健保組合が実施している各種保健事業のご利用をよろしくお願いいたします。

◆基礎数値

被保険者数	2,270人
平均標準報酬月額	464,000円
総標準賞与額(年間合計)	3,832,819千円
被扶養者数	1,896人

一般勘定





収入合計	17億913億1千円
経常収入	13億5,359億3千円

支出合計	17億913億1千円
経常支出	16億5,966億2千円

経常収支差引額　▲3億606万9千円

収　入

被保険者数や総標準賞与額の減少により減収の見込み

保険料収入は、総標準賞与額の減少を見込み、前年度比1,431万9千円減の約13億4千万円となる見込みです。

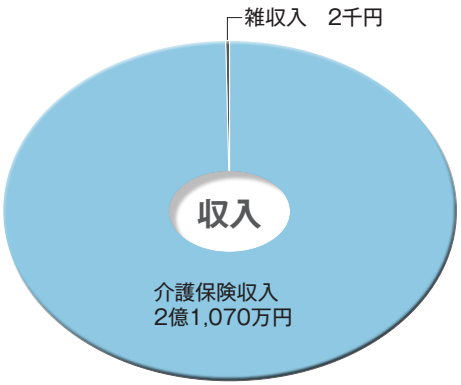
収入不足を補うため、前年度からの繰越金を約2億3千万円と繰入金1億円により予算編成しています。

支　出

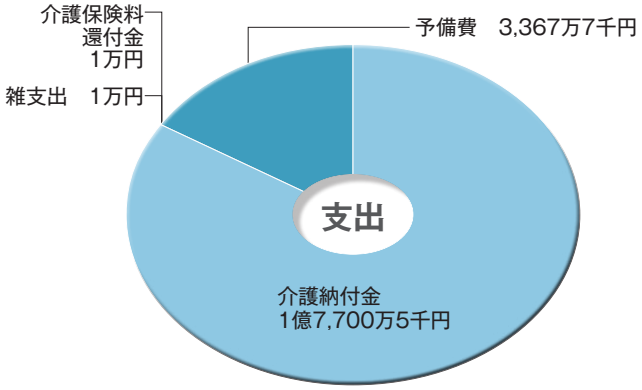
前期高齢者納付金が大幅に増加

皆様の医療費に支払われる保険給付費は、対前年度比5千万円減の約7億9千万円となる込みです。また、高齢者医療を支える納付金は、対前年度比2億2千万円増の約6億9千万円を見込んでいます。

介護勘定



収入合計　2億1,070万2千円



支出合計　2億1,070万2千円

令和７年度に実施する保健事業の内容

病気の予防対策

- 各種検査費用の負担および補助
  - 胃検診（定期健診時）
  - 大腸がん検診（定期健診時）
  - HBs 抗原検査（定期健診時）
  - HCV 抗体検査（定期健診時）
  - 特定健診（家族健康診断）・特定保健指導（随時）
  - 子宮がん・乳がん検診（随時）
  - レディース健診（随時）
  - 胃カメラ検査（対象：50歳以上偶数歳）
- 人間ドック費用補助
  - 病院直接支払い補助（随時）
  - 個人受診ドック補助（随時）
- 電話によるメンタルヘルスカウンセリング（随時）
- 家庭用常備薬斡旋（年2回）
- 無料歯科健診（年2回）
- 歯周病検査（随時）

保健衛生の広報

- 被保険者向け「けんぽニュース」（Web掲載）
- 新入社員向け「社会保険の知識」配布（4月）
- 「すこやかファミリー」配布（年4回）
- 医療費のお知らせ（Web掲載）
- 家族健診（レディース健診・特定健診・人間ドック・がん検診）案内書の配布（案内書4・10月）

健康増進・リフレッシュのために

- フィットネスクラブ「コナミスポーツクラブ」の利用料金の補助

公　告

◆ 一般保険料率および調整保険料率は変更ありません

		令和7年		
		一般保険料率	調整保険料率	合計
負担割合	事業主	42.900/1000	0.680/1000	43.58/1000
	被保険者	39.800/1000	0.620/1000	40.42/1000
	計	82.700/1000	1.300/1000	84.000/1000
実施（予定）年月日		令和7年3月1日		